



何かに情熱を注いでいる方を紹介します

私と将棋

もりお
孫井 盛夫さん



“将棋でつながる仲間との時間”

2月16日(日)に中浦公民館の3階で開催された『将棋教室』&『将棋大会』。町内でも指折りの将棋名人や愛好家が集い、日本将棋連盟公認将棋指導員をはじめ松山の将棋センターで日々鍛錬を積んでいる将棋キッズたちが参加した当日は、和やかさと緊張感の漂う対局が繰り広げられていました。

そこに参加していた孫井盛夫さんは御年85歳の大ベテラン。中学校を卒業し働き始めた巻き網漁船では、多くの乗組員が将棋を楽しんでいたそうで、気付けば自分も将棋を始めていたと当時を振り返ります。船内で仲間と対局を重ねるうちに将棋の世界に魅了され、これまで70年にわたり楽しんできました。

現在は月2回の月例会に参加して将棋を指すほか、町内の大会にも参加して将棋を通じた交流を楽しんでおり、「人と会って話しながら将棋を指すひと時が好きな時間。時間制限のある対局はあんまり得意やないな」と笑顔で話す孫井さん。「ほとんど相手の言いなりで負けてしまうけど、たまに自分の思い通りに駒を進められた時は気持ちがいい」と将棋の魅力を語ります。

以前に比べて将棋人口が減少していることに寂しさも感じていますが、この日のように町外から子どもたちが参加する交流会が年に2回町内で開催されています。将棋を通じて世代を超えた交流ができてことに喜びを感じ刺激を受けている様子の孫井さんが得意とする戦法はもっぱら居飛車。藤井聡太竜王・名人と同じ居飛車党の孫井さんは腕組みをして真剣な眼差しで盤上を見つめ、始めの合図で将棋キッズとの対局に臨みます。将棋センターで鍛えられた子どもの戦法とスピードに苦戦しながらも駒を進め、静かで熱い対局を繰り広げる両者。他の机でも同時に対局が進められており、駒を指す音だけが会場内に響く中で聞こえてきたのは「孫井負けました!」と自ら対局の終了を運営に知らせる声。対局に負けてしまった孫井さんですが笑顔で充実感に満ち溢れ、朗らかな表情で対局を終えました。

編集後記

防災・事前復興フォーラムで講演されたウィーアーワン北上の佐藤さん、元気仙沼市危機管理監の佐藤さんの講演を私は昨年、事前復興計画策定のため東北視察研修で出張した際に聴講しました。(広報12月号24頁)。自身が被害に遭いながらも、現場で活動してきたお二人からの言葉は重く、計画の終着点をどこに見据えて策定していくのか考えさせられました。講演は参加者にとって、生の声を聴く貴重な場になったのではないのでしょうか。 H

移動販売中に具合の悪い高齢女性を発見し、勇気ある行動を見せ感謝状を贈呈された井村さん。地域を見守り、お客さんとの対話を大切にしているからこそ、いつも買い物に来る人の姿が見えないと大丈夫かなって感じることもあるそうです。

なかなか買い物に行くことが難しくても、優しく頼もしい店員さんが近所までたくさんの商品を届けてくれる。これこそがハッピーショッピングだなと感じた次第です。 M

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口

令和7年3月1日現在

世帯数	9,774世帯 (-28世帯)
人口	18,483人 (-58人)
男	8,765人 (-23人)
女	9,718人 (-35人)
愛南町の高齢化率	47.4%

※ () 内は前月比

●10年前 同月の人口 23,507人

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>